

Kunikazu Ishii

愛で溢れる美しく活力ある郷土づくり

県北と
県政の絆を!

県北地域の活力なくして 茨城県の発展なし

2022年の新春を皆様にはお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は、石井邦一の愛で溢れる美しく活力ある郷土づくりのための政策づくりに対し、深いご理解によりご指導とご支援を賜っており、誠に深く御礼を申し上げます。お陰様で石井邦一も初当選以来、皆様方に政治家としてお育てをいただき、早いもので15年が経過いたしました。皆様方との絆に心より深く感謝申し上げます。

さて、まだまだコロナ禍と世界的に厳しい社会情勢の中で、日本においてもワクチン接種は進んできたものの、油断が出来る状況にはいたっており、3回目のワクチン接種やPCR検査の実施など新しい生活様式による感染症予防対策に引き続き取り組んで行かなくてはなりません。その一方で、観光や飲食店など厳しい経済状況となっており、それらの社会経済対策も引き続き取り組んでいかなくてはなりません。

石井邦一の 挑戦は続く



正副議長退任式

本会議にて議事進行

その様な中で昨年は、茨城県議会第114代副議長として一年間、活発で円滑な議会運営に努め県政発展に取り組んで参りました。

特に、議会改革では青空議会や日曜議会を取り入れ開かれた県議会づくりに取り組むと共に、正副議長プロジェクトとしてインシンの活用について部局横断的なプロジェクトチームを作り、市町村や団体・企業に参加をいただき勉強会を行って参りました。

更に、各部局の職員の皆様から政策や県政運営などについて日々業務報告を受け意見交換すると共に、多くの県民の皆様が副議長室を訪問していただき、県政要望や県政に対するご意見をお伺いし意見交換させていただきました。

また、常任委員会を営業戦略農林水産委員会に所属し、農林水産業や観光業など様々な課題解決に向けて活発な議論を進めると共に、変革期をリードする新時代の茨城づくり調査特別委員会にも所属し、新たな総合計画の策定に向けて活発な政策提言に努めて参りました。



いばらき自民党会派によるコロナ対応の追加要望

今年、予算特別委員会の委員長に選任され、県政発展のため委員会運営に全力で取り組んで参ります。また、常任委員会は議会改革により年度切り替えとなりましたので、引き続き3月末までは営業戦略農林水産委員会に所属いたします。

これからも、県民の皆様との絆を大切に「県北の活力なくして茨城県の発展なし」を掲げ、愛で溢れる美しく活力ある郷土づくりに全力で取り組んで参りますので、今年も県政に対する様々なご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

【元気な県北を目指し南北格差是正に取り組む】

県北山間地域へのアクセス利便性向上を目指し、関係市町村長にご参加をいただき県北地域高規格道路整備促進期成同盟会の会議を開催し、県土木部から現状の進捗状況について説明を求めると共に、常陸大宮市バイパス以北における国道118号線の冠水対策を利用した4車線化の新事業について説明を受け意見交換いたしました。



【県産木材の利用拡大】

常陸太田市山田地区のJA常陸の閉館となった農産物直売所を活用して、地域の農家の皆様が地域活性化として運営された「農家直売所 山田」に県産木材の看板の寄贈式が執り行われ出席し意見交換いたしました。



【県有施設の調査活動】

茨城県石岡市に整備されている「いばらきフラワーパーク」が体験型の施設としてリニューアルされ、オープンを前に内覧会が行われ現地調査に伺い意見交換いたしました。



【防災訓練】

常陸太田市においてコロナ禍の避難所設営の防災訓練が行われ調査で伺い関係者と意見交換いたしました。



【改質リグニン製造実証プラント】

世界の新産業として注目を集める「改質リグニン製造実証プラント(杉から抽出する成分リグニン)」の茨城県の宮の郷工業団地への誘致を、大井川和彦茨城県知事にご協力をいただき石井邦一が関係者と共に取り組み誘致が実現し、今年6月に竣工式が執り行われ出席し皆様と意見交換いたしました。



【地域の安心・安全】

大子町において頃藤駐在所と西金駐在所が統合され新たにパトカーが配備された頃藤駐在所が整備され竣工式に伺い安心安全な地域づくりについて意見交換いたしました。



【道の駅だいがりリニューアルオープン記念式典】

大子町において道の駅だいがりリニューアルオープン記念式典が開催され同道の駅の役割や運営について意見交換いたしました。



【芸能文化の振興】

常陸太田市において民謡舞茨城県東部連合大会が開催され芸能文化の振興調査で伺い関係者と意見交換いたしました。



【茨城県北ロングトレイル開通式】

ロングトレイルの整備について石井邦一が一般質問で提言し県振興局が民間団体と連携を図り320kmの茨城県北ロングトレイル構想が誕生し整備が進み大子町の1部が完成し開通式が行われ出席すると共に現地調査で意見交換いたしました。



茨城県議会議員 石井邦一事務所

石井邦一の活動や県政などについて
お気軽にご意見をお寄せ下さい
ホームページ <http://www.kunikazu.net>

〒319-3361 茨城県久慈郡大子町頃藤5016
TEL 0295-79-3888 FAX 0295-79-3887
Facebook [kunikazu.net](http://www.kunikazu.net) Eメール info@kunikazu.net

日々の活動については、ホームページ並びに、Facebookをご覧ください。



【議会改革推進】

茨城県議会において、県民に開かれた議会を目指して日曜議会の開催・県議会PRコーナーリニューアル・青空議会の開催など、県議会初となる取り組みを行いました。日曜議会では水戸第二高等学校の生徒さんとの「ケアラ」をテーマとした議員との意見交換や書道部によるパフォーマンスを披露していただきました。

また本会議においては多くの県民の皆様が県議会の傍聴にお越しいただきました。

青空議会は2度開催し、1度目はコロナ禍で初のオンラインでの開催、2度目は茨城大学のご協力で大学生と高校生をお迎えして正しく青空のもとで開催し、意見交換しました。



日曜議会の開催

青空議会の開催

県議会PRコーナーのリニューアル

【主な業務報告】

副議長に就任以来、副議長室において新型コロナウイルス感染症対策・県北振興策はじめ、農林水産行政・観光振興行政・防災環境行政・土木行政・保健福祉行政・教育行政・警察行政など日々様々な業務報告をお伺いし、県職員の皆様と意見交換を行い県民生活の充実と茨城県の発展に努めて参りました。



【主な訪問者】

多くの県民の皆様が副議長室を訪れてくださり県政諸課題などについて大変参考となる様々な提言やご意見をお伺いし皆様と意見交換を行い県執行部にその内容をお伝え、課題解決に取り組みました。

(スペースにより全員をご紹介できないことご了承ください)



環境保全について意見交換

久慈川鮎釣り教室の要望を受ける

サイクリング王国いばらきに向けて意見交換

モンゴルとの友好について意見交換

大子町議会 訪問

常陸太田市議会 未来創政クラブ訪問

開かれた議会を 目指して

【報道機関への対応の一部をご紹介】

副議長就任後や定例会終了後に4回の茨城新聞社様からのインタビューを受け県政について意見交換すると共に茨城新聞社長様との対談もさせていただき、県議会の取り組みなどについて広報に努めました。



副議長石井邦一

茨城県議会正副議長に聞く

第114代議長 石井邦一氏

第113代議長 常井洋治氏

変革。県民と共に創るいばらきの新時代

新型コロナウイルス収束に全力 地方移住へ需要生かす

テレワーク 魅力発信

命と暮らしを まもり抜く

変革期をリードする新時代の茨城づくり調査特別委員会における、石井邦一の提言により、意見が盛り込まれた、調査報告書(最終提言)抜粋

重点的に取り組むべき事項

I 財政基盤と行政組織の強化

(1) 財政基盤の強化

○より一層の財政の強化を図るため、県有未利用地については、計画的な土地利用方針を立てて有効活用を進めるとともに、有効活用を図られない土地は早期処分に取り組み必要がある。

(3) 出資団体改革等の推進

明確にし、戦略的・計画的な財源確保と公共投資を進める必要がある。

(2) 新産業の創出、地域産業の振興

II 産業の振興・創出等

○本県経済の持続的成長に向け、新産業の創出・育成、産業を担う人材の確保・育成に向けた取組を強化する必要がある。また、企業が活動しやすい環境づくりとともに医療福祉子育て支援等企業が進出しやすい生活環境の整備をすすめる。育成した人材やベンチャー企業が、高度な技術を持つ人材が県外に流出しないようにする必要がある。

○カーボンニュートラルは、排出する側と吸収する側の両輪で進めなければ実現しない。森林の保全・整備や植樹による緑地の創出を促進する等、二酸化炭素吸収源対策にも努めるべきである。

(1) 新たな日常に対応した医療体制の構築

III 安心安全快適な生活環境づくり

○新型コロナウイルス感染症を教訓に、同様の感染拡大があることも想定し、対応可能な機能・体制を整える必要がある。

(2) 介護福祉分野におけるDXの推進、子どもや家庭への支援、障害のある人も暮らしやすい社会づくり

IV 人材(財)育成

○超高齢社会を迎える中、市町村における介護サービスに格差が生じないよう、デジタル技術を活用した要介護認定の標準化等、公平かつ迅速な県民サービスの向上に向けた支援策を講ずる必要がある。

V 新しい夢・希望への挑戦、幸福度指標の設定・人口の展望、未来の交通ネットワークの整備等

○本県の活力の維持・発展のためにも、その基盤となる広域交通ネットワークの整備が必要である。とりわけ、東関東自動車道水戸線の全線開通や首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の4車線化は、可能な限り早期に実現する必要がある。また、通勤・通学をはじめ産業経済活動の円滑化や観光振興の面でも、茨城の背骨となる「茨城縦貫幹線道路(つくば立間大子)や「東北地域高規格道路」、そのほか東北地域が首都圏へ通勤可能となるような、県内外の交通結節点を結ぶ幹線道路ネットワークの整備を推進し、地域間の交流促進を図る必要がある。



○健全な財政構造の確立・財政健全化に着手し、取り組みとともに、新たな成長の原動力となる分野への重点投資、県有地をはじめ県有財産の有効活用を進める必要がある。県北・県央・鹿行・県南・県西の各地域の特性を生かした地域づくりの方向性を打ち出し、地域が自立して発展していくためにも、中長期的な見通しを

○さしま少年自然の家は、自然を満喫・体験できる素晴らしい施設である。地球温暖化が進む中、森林の持つ多面的機能・公益的機能の役割を学習する場として、老朽化にもなう県産材の使用による改修ももちろんであるが、新たな視点で利用者を増やしていく取組が大事である。

○企業にとつては、いかに環境対策に取り組むかが、企業の価値を左右する課題となっている。企業立地の推進を図る上でも、再生可能エネルギー

○カーボンニュートラルは、排出する側と吸収する側の両輪で進めなければ実現しない。森林の保全・整備や植樹による緑地の創出を促進する等、二酸化炭素吸収源対策にも努めるべきである。

○超高齢社会を迎える中、市町村における介護サービスに格差が生じないよう、デジタル技術を活用した要介護認定の標準化等、公平かつ迅速な県民サービスの向上に向けた支援策を講ずる必要がある。

○本県の活力の維持・発展のためにも、その基盤となる広域交通ネットワークの整備が必要である。とりわけ、東関東自動車道水戸線の全線開通や首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の4車線化は、可能な限り早期に実現する必要がある。また、通勤・通学をはじめ産業経済活動の円滑化や観光振興の面でも、茨城の背骨となる「茨城縦貫幹線道路(つくば立間大子)や「東北地域高規格道路」、そのほか東北地域が首都圏へ通勤可能となるような、県内外の交通結節点を結ぶ幹線道路ネットワークの整備を推進し、地域間の交流促進を図る必要がある。

令和3年 営業戦略農林水産委員会
における、石井邦一の提言



- 公共建築物での県産木材利用促進
- 改質リグニン実証プラントの商用プラントへの展開支援
- SNSの積極的活用戦略による、いばらきの魅力発信事業の推進
- 観光関係者のいばらき観光マイスターの取得者促進
- 「いば旅あんしん割」事業の推進
- 森林湖沼環境税を活用した林道の整備の推進
- カーボンニュートラルにも大きく貢献する森林の整備
- いば旅あんしん割の割引支援額の拡充
- ワクチン接種証明のデジタル化

- いばキラTVの魅力発信動画の活用
- 森林への関心を高める木育の推進
- 中山間地域の農業における、付加価値の高い農産品の生産及び販売PR
- 茨城空港の利用促進を図る、他県とも連携し広域に周遊できる仕掛けづくり
- 茨城ならではの土産品の開発
- 久慈川 友釣り教室の自立できるまでの県の支援

「アフターコロナを見据えた本県の観光振興」に関する提言

「アフターコロナを見据えた本県の観光振興」を重点審査テーマに掲げ、1年間の審査の過程で実施した県内調査や有識者からの意見聴取の結果を踏まえ、本県が取り組むべき施策等について提言をする。執行部においては、本提言の内容に十分配慮の上、業務の推進にあたられたい。

1. コロナ禍における本県観光の現状と課題

- いば旅あんしん割などの支援を行うにあたっては、事業者により商品の特性や価格帯等が異なることに留意し、幅広く支援を行うこと。また、地域応援クーポンについて、利用可能店舗を増やすことなどにより、利用者の利便性向上や地域の事業者支援を図ること。
- いば旅あんしん割は、感染症対策と経済活動を両立し、旅行者、事業者ともに安心を与える事業である。そのため、感染者数等により機械的に停止するのではなく、ワクチン接種等の状況も踏まえながら柔軟に運用すること。
- 長引くコロナ禍により、各事業者の経営は厳しい状況が続いているため、いば旅あんしん割などの支援については継続して実施すること。
- ワクチン接種証明の活用における利便性向上を図るため、国の動きも踏まえながら、デジタル化の早急な実施・充実を行うこと。
- 県外との往来が制限されるコロナ禍においても、しっかりとした感染症対策を行い、マイクロツーリズムを推進すること。
- コロナ禍により、県内の物産店や生産者は売上の減少に苦しんでおり、県産品のPRにあたっては、県内事業者の売り上げにつながるよう、費用対効果の視点を持ち行うこと。

※下線の内容が石井邦一の要望により、提言に盛り込まれました。

2. ウィズコロナ・アフターコロナに対応した観光誘客の促進・消費拡大

- ① 新たな観光資源の発掘
- ② 新茨城リゾート構想
- ③ コロナ後を見据えたインバウンドの取組
- ④ 茨城空港の利活用促進



により地理的な不利を解消できる基盤整備が整いつつある今、具体的な指標を県計画に掲げる等、格差の解消へ向けた取組を加速化する必要が



【主な林活議連活動】

県議会の超党派で組織し石井邦一が会長を務める森林・林業・林産業活性化促進議員連盟において、カーボンニュートラル2050の目的達成に向けて本県の目的税である森林湖沼環境税の5年間の継続要望活動を行うと共に、全国植樹祭(島根県)並びに全国育樹祭(北海道)への参加・いばらき森林づくり木づかいキャンペーン2021への協賛・環境譲与税制度について勉強会の開催・県議会副議長室での県産木材PRなど積極的な活動により、森林湖沼環境税の5年間継続決定など様々な成果を上げました。



副議長室にて県産木材のPR



勉強会の開催



いばらき森林づくり木づかいキャンペーンにて意見交換



全国育樹祭への参加

【サイクリング王国いばらきづくりの主な活動】

石井邦一が幹事長を務める「いばらき自民党スポーツ健康振興議員連盟」において、大井川和彦茨城県知事主催のつくば霞ヶ浦りんりんロードお花見サイクリングイベントに参加し意見交換すると共に、茨城の海岸ルート整備に向けて福島県いわき七浜海道の調査をいわき市のご協力で行い意見交換いたしました。また奥久慈里山ヒルクライムチームメンバーなどにご協力いただき、JR水郡線におけるサイクルトレイン事業の推進を図るため、常陸大子駅から磐城棚倉駅間を乗車し久慈川サイクリングロードの試走調査を行うと共に、矢祭町庁舎において、高梨哲彦大子町長・先崎光那珂市長・佐川正一郎矢祭町長を交え意見交換いたしました。



いわき七浜海道の調査を実施



つくば霞ヶ浦りんりんロードお花見サイクリングイベントに参加し意見交換



JR水郡線におけるサイクルトレイン事業の調査

【正副議長プロジェクト】

イノシシによる農業や道路などの公共施設への被害発生が約1億円以上と深刻化する中で、その課題の解決に向けて、茨城県議会正副議長プロジェクトとしてイノシシ肉の活用について調査活動をして参りました。プロジェクトでは、茨城県や栃木県の食肉加工施設の現地調査・各市町村や民間団体などにも参加いただいた勉強会の開催・出口戦略に向けジビエ試食会やジビエ加工肉の事業者との意見交換・イノシシ肉の出荷体制の整備など、部局横断的な県執行部チームのご協力により活動を行い提言書をまとめ、県議会の各会派代表並びに県関係部長への提言書を手渡しました。正副議長プロジェクトは一節目を迎えましたが引き続き課題解決に向けて取り組んで参ります。



県関係部長への提言



各会派代表への提言



ジビエ試食会

【主な団体や企業との意見交換】

副議長に就任後には早速、医療福祉・農林水産業・建設業・商工業・金融機関・報道機関など県内の各種団体や企業に就任のご挨拶で常井議長と共に伺い県民生活の充実と茨城県の発展に向けて県政諸課題などについて意見交換を行い業務にさせていただきました。



【会派における政調会】

いばらき自民党政務調査会において「森林湖沼環境税の検証」「ケアラー支援に関する勉強会」「性暴力・性犯罪に関する勉強会」「不法残土に関する勉強会」「県議会提出議案に関する勉強会」「県政に反映するための政策大綱づくり」「友好団体の要望意見聴取」など日々活発に政務活動を行い、条例の制定や県政策に反映しております。

